

2027 年度 指導医更新申請のご案内

I. 乳腺指導医更新申請資格

- ・本学会乳腺指導医であること。
- ・会費を完納していること（2026年度の会費まで）。
- ・乳腺外科専門医・研修カリキュラムの基幹施設および連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは本学会が認定した認定施設に常勤で勤務し、乳腺診療に従事していること。

※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の勤務証明書が必要。

- ・認定医、専門医を目指す医師を指導した実績があること。
- ・2021年8月～2026年7月末までの乳癌経験症例が100例以上あること。
- ・乳腺疾患に関する研究業績が8点以上、研修実績が30点以上あること。

※乳腺専門医の資格有効期間が20年以上の場合、診療経験の提出は免除する。

なお、認定医の同時取得（IV参照）を希望される場合は症例の提出が必要。

- 指導医の更新申請を行う場合、専門医の更新申請は免除される。申請書類、申請料共に指導医更新申請分のみ必要。
- 所属施設の認定等で指導医の更新が出来ない場合でも、専門医として更新を認める場合がある。

【復活申請について】

認定期間が切れている場合は、理由の入力が必要です。申請画面にて更新できなかった理由を入力してください。加えて、資格停止期間が2年間を超える場合は、2023年度以降の「乳腺専門医・認定医セミナー（受講証明書の発行あり）」の受講も必要な為、受講証明証を添付してください（2023年4月1日以降発行の受講証明書）。

II. 申請期間

2026年5月1日～2026年8月31日 23:59

申請書類はデータにてご提出していただくこととなりました。郵送での申請を希望される場合は別途手数料5,000円が必要となります。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

III.申請書類

作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります
- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択してください。
- ・旧書式による申請書類は受け付けません。最新版を会員ページ（以下、MyWeb）からダウンロードしてください。
- ・記載欄が不足している場合は、適宜追加してください。
- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります（Ⅷ. チェックリスト参照）。
- ・審査員が見やすいように提出してください（不鮮明な書類は不可）。
- ・指定のファイル名（Ⅷ.チェックリスト参照）で提出してください。

①乳腺指導医更新申請書

- ・まず始めに、MyWebの会員情報のアップデート、手術療法で申請される場合はNCD症例の提出（P5<症例の提出方法>参照）を行ってください。
- ・申請書はMyWebの「資格情報確認・申請」から申請に進んでいただき、ダウンロードしてください。MyWebの会員情報が反映されます。
MyWeb <https://jbcsmembers-web.com/login>
- ・申請書に必要な箇所をご入力ください。

②研究業績一覧

- ・2022年1月～2026年8月末までの乳腺疾患に関する研究業績が8点以上あること。
- *業績として認められるかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となります。

【論文】

査読を伴う学術雑誌における乳腺疾患についての原著あるいは症例報告に関する論文発表であること。

- ・査読システムが認定委員会で確認できないものは不可。
- ・論文の題名・所属・発表者名・要旨の記載されているページ（但し、論文要旨の項目がない場合は、論文全ページ）を添付し、可能であれば、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。
- ・2026年8月31日までに採択の返事を得られている場合には、それを証明できるものを提出すれば認めるが、投稿中であっても2026年8月31日までに採択の返事を得られていない場合には業績として認められない。なお、掲載予定の論文は論文原稿に掲載証明書（アクセプトメール可）を添付して提出をすること。

【学会発表】

- ・査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可）における乳腺疾患に関する発表であること。
 - ・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か会期がわかるページと抄録を添付し、可能であれば、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。
- ※過去の乳癌学会学術総会の抄録については、MyWebにて閲覧可能。

研究業績点数表

	欧文論文	和文論文	国際学会 日本乳癌学会	国内学会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会
筆頭	10	6	4	3	2
共同	3	2	1	1	1

③研修実績一覧

- ・2022年1月～2026年8月末までの乳腺に関する学会・研究会・セミナー（日本乳癌学会地方会は可）に参加した研修実績が30点以上あること。
 - ・上記の内、日本乳癌学会学術総会に参加した研修実績が3回以上あること。
 - ・参加した証明として、参加証・終了証を添付すること。
 - ・日本外科学会等の学会参加情報の照会ページPDFの添付でも可。
- ※参加証・終了証には氏名を記載し、研修実績一覧と同様の番号を振ること。

研修実績点数表

日本乳癌学会				その他学会		
学術総会	専門医・ 認定医 セミナー	地方会	教育 セミナー *1	国際 学会	国内 学会	乳腺関連研究会 乳腺関連講習会*2
6	4	2	1 or 2	4	3	2

*1 受講証記載の点数による。但し、記載のないものは1点とする。

*2 マネジメント講習会、超音波講習会、JOHBOC セミナーなど適切なプログラムが組み込まれていること。

その他学会については、原則的に全国規模の学会・研究会とする。

それ以外のものは、専門医制度委員会・認定委員会の判断による。

④基幹・連携施設/認定施設 常勤勤務証明書

⑤乳癌症例記録、乳癌症例の診療経験目録

・2021年8月～2026年7月末までの乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること
(良性・疑いは不可)。

・手術療法(術者・助手含む)、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域における100例以上の診療経験を記載。

※主領域で50例以上ある場合は他領域との混合も可。

・画像診断、放射線治療、薬物療法を主領域として選択した場合は、症例記録30例と診療経験目録70例を提出すること。

※混合で申請する場合も、副領域症例の症例記録が必要となる。

その数は【副領域総数の内30%(小数点以下切り上げ)】

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・NCD登録があり、乳癌の確定診断のついた症例のみ対象(良性・疑いは不可)。
- ・表示専門医「乳腺外科 乳癌登録」にチェックがあるもの。
- ・ステータスが「完了(承認済)」となっているもの。

(術式)

NP0188：乳腺悪性腫瘍手術 2.乳房切除術 腋窩部郭清を伴わないもの

NP0283：皮膚温存乳房全切除術

NP0284：乳頭温存乳房全切除術

NP0285：乳管腺葉区域切除術

NP0294：乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)(内胸、鎖骨上、下窩など郭清併施)

※2022年以前はOP0032：乳腺悪性腫瘍手術(拡大乳房切除術)(胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清併施)

NP0295：乳腺悪性腫瘍手術 ラジオ波焼灼術

OP0028：乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴う)

OP0029：乳腺悪性腫瘍手術(乳房部分切除術)(腋窩部郭清を伴わない)

OP0030：乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴う)(胸筋切除を併施しない)

OP0031：乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術)(腋窩鎖骨下部郭清を伴う)(胸筋切除を併施)

※OP0016やOP0023等のVABやCNBの症例は対象外。

<症例の提出方法> 原則、診療経験目録の提出は必要ありません。

NCD のシステムにログインをしていただき、システムより症例を提出してください。別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」(HP に掲載) に従い、申請前に以下の URL より「提出する」を実施してください。NCD から事務局へデータが提供され、個々の MyWeb に反映されます。「提出する」を実施いただいてから、MyWeb への反映までには時間がかかりますので、申請を検討されているようでしたら、早めにシステムからの提出をお願いいたします。

NCD-Person : <https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD 検索リストの提出は不要です。

※NCD から提供される手術症例数は、2021 年 8 月～2025 年 12 月までの 4 年 5 ヶ月分となり、2026 年分は提供されません。2026 年分を提出しないと 100 例に満たない場合は、「⑤-2 乳癌症例の診療経験目録」に記載し、病院長の証明をもらってください。

【画像診断】

- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名・診療内容(画像所見を含む)の記載が必須
- ・診療経験目録には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記載する
- ・経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要(細胞診による診断は不可)

*申請者自らが針生検などにより病理組織診断を行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します

- ・再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射期間、照射線量、診療内容の記載が必須
- ・診療経験目録には、施行期間、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射線量を記載すること

【薬物療法】

- ・乳癌症例記録(薬物療法)には、初診年月・病理組織診断名・ホルモン受容体(ER, PgR)・HER2・治療ライン(術前/術後/進行・転移再発)・薬剤名・投与期間の記載は必須。この症例記録では、転移再発症例での治療経験を 30 例中 15 例以上提出すること
- ※薬物療法が副領域の場合には、転移再発症例の提出はなくてもよい

- ・診療経験目録には、施行年月・治療ライン（術前/術後/進行・転移再発）・病理組織診断名・ホルモン受容体(ER, PgR)・HER2・レジメ・薬剤名を記載すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。（転移再発症例は症例記録、診療目録合わせて100例中30例以上あることが望ましい）
 - ・周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可*1）また、初回投与開始症例のみに限る。
- ※術前化学療法Aを行い、術後治療Bを行った場合でも、1例と扱い、別個に掲載しない、つまり治療レジメをダブルカウントしないこと。
- *1 HER2 陽性乳癌における術後のT-DM1のみは不可（術前治療からの担当が必須）。また、Olaparib+ホルモン治療、Abemaciclib+ホルモン療法も、基本ハイリスクなので化学療法からの担当が必須。化学療法を実施しない場合はその理由根拠が明確であれば可。
- ・転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは1レジメまでとする。（同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可）レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。（殺細胞性抗癌薬のみに限定しない）臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

IV. 【認定医の同時取得が可能です】※認定医の取得は任意です。

新認定医制度について

これまでの制度では、認定医は乳腺専門医を目指す医師の為のその基盤としての資格でした。ゆえに乳腺専門医の資格を有する先生は、認定医の更新をしない限り、その資格を失効している状況でした。2024年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。希望される場合は、MyWebにて申請の際、「認定医の同時取得をご希望の方は、チェックを入れてください。」にチェックをしてください。希望され、合格した場合は指導医認定料に追加して認定医認定料1万円が必要となります。

乳腺認定医認定期間：2027年4月～2032年3月（乳腺指導医認定期間と異なります。）

乳腺指導医認定期間：2027年1月～2031年12月

※別途、認定医申請の申請書・申請料は不要です。

V.申請料・提出方法

申請料：10,000 円

※認定医の同時取得を希望する場合も、別途追加の申請料は不要です。

MyWeb より申請書類のアップロードと申請料の支払い（クレジットカードでのお支払いをお勧めしております）をお願いいたします。詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい。Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、Ⅷ. チェックリストにて事前にご確認ください。受領メールはお送りいたしませんので、MyWeb にて申請ステータスが「申請済」になっていることをご確認ください。なお、既納の申請手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません。

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）をご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2026 年 8 月 31 日必着）

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください。

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛 まで

VI.審査結果について

審査結果は 12 月下旬頃 MyWeb に登録のメールアドレス宛に連絡いたします。

合格者には認定料 10,000 円（認定医を同時取得する場合は指導医 10,000 円+認定医 10,000 円、合計 20,000 円）の納付が確認でき次第、MyWeb にご登録の希望の送付先に認定証を発送いたします。

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください

VIII.チェックリスト ※全て MyWeb よりアップロード※

手術療法で申請される場合は、申請の前に NCD のシステム(NCD-Person)より症例を提出してください。P5<症例の提出方法>参照。

	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	①乳腺指導医更新申請書	Excel のまま	sdk_1 申請者名	申請書フォームの必要箇所にご入力いただき提出してください。④以降は PDF で提出ですが、削除せずそのまま提出してください。
<input type="checkbox"/>	②-1 研究業績一覧（論文）			
<input type="checkbox"/>	②-2 研究業績一覧（発表）			
<input type="checkbox"/>	③研修実績一覧			
<input type="checkbox"/>	④基幹・連携施設/認定施設常勤勤務証明書	PDF(公印をもらった後)	証明書_申請者名	※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の勤務証明書も添付
<input type="checkbox"/>	⑤-1 乳癌症例記録	PDF（公印をもらった後）	診療経験目録_申請者名	手術療法の場合、⑥-1 の提出は不要、⑥-2 は 2025 年 1 月以降の症例を申請する場合のみ提出してください。複数ある場合は続けてひとつの PDF におまとめください。
<input type="checkbox"/>	⑤-2 乳癌症例の診療経験目録			
<input type="checkbox"/>	研究業績一覧の添付書類	PDF	発表_申請者名 / 論文_申請者名	②の添付資料として 複数ある場合、論文と発表を分けて、それぞれ一つの PDF におまとめください
<input type="checkbox"/>	研修実績一覧の添付書類(参加証)	PDF	参加証_申請者名	③の添付資料として 複数ある場合、一つの PDF におまとめください ※日本外科学会等の学会参加情報の照会ページ PDF の添付でも可
<input type="checkbox"/>	乳腺専門医・認定医セミナー受講証明証	PDF	受講証_申請者名	2023 年 4 月 1 日以降発行の受講証明証 ※認定期間が切れていて、資格停止期間が 2 年間を超える場合のみ